



Go West!

佐賀県立唐津西高等学校

学校だより NO.14 R4.11.01

【建学の精神】朝（あした）に希望 タベに感謝

文責 学校長 下村 昌弘

E-Mail shimomura-masahiro@education.saga.jp

人間の性向は二十歳までに決まる —読め、然らずんば去れ！—

誰の言葉だろう。学生時代に先輩からよく言われた。

「書け！ 然らずんば、語れ！ 然らずんば、読め！ 然らずんば、去れ！」

自己表現のためには読書というインプットが必要だ。亀山郁夫（ロシア文学者）は言う。

「この人の意見を聞こうと思わせるのは教養です。どれだけ本を読んでいるか。それは文学に限りません。」

高校の頃、担任の先生に言われて今でも心に刻んでいる言葉がある。

「人間の性向は二十歳までに決まる。」

若いうちは出会いの宝庫である。特に二十歳くらいまではどんな本を手にするかによって人生は変わるのではないかと今ではそう思える。

私が高校時代、図書館から借りた本に『青春の蹉跌』(石川達三)がある。タイトルに惹かれてちょっと大人になった気分^{きてつ}で借りた。その本を最近読み返して感じた。あの頃は全然読めていなかったなど。

逆に、当時の方がはるかに純粋にその本を楽しんでいたんじゃないかと思うこともある。『世界の終わりとハードボイルドワンダーランド』(村上春樹)。若かった私は安アパートで洗濯機をガラガラ回しながらなめるように読んだ。パラレルワールドに惹かれた。

本は人が生きる上でランドマーク的な役割を果たしてくれる。同じ本を人生の別の時期に読むことで自分の変化を自分自身で感じることができる。

本には普遍的な面白さなんてない。誰かがある時にある状況の中で読んでその本は面白い。そうした出会いの中にしか喜びはありえない。若い時は若い時の読み方があっていい。ただしその喜びは本を手にしたものにしか訪れない。

今、読書週間。自分はいくつかの書物と幸福な出会いをして来たし、これからもしていきたい。皆さんにもそういう出会いがあることを切に願う。

あってはいけないことだが、、もしキミが今日の帰りに事故に遭って鞆の中身が道端に散乱したとしたら、、その時、そこに“いかがわしい”本があるより、教養を感じさせる一冊がある方が断然素敵なことではないか。本はかっこつけから手にしてもいい。

探究で深掘りせよ —1年生 SDGs 講演会—

10月18日、一年生はキャリアコンサルタント早川加恵先生のコーディネートのもと、5人のパネラーからSDGsを窓口として仕事の奥深さと職業人としての生き方を学んだ。

部分的な心酔で申し訳ないが、以下その時に受けた印象的な言葉を掲げる。自分のメモと合わせて折りに触れて反芻^{はんすう}してほしい。



福井 秀平氏 (IMARI) 「あなたの名前に歴史と未来が入っている。」

平田憲市郎氏 (クラベルジャパン) 「事業に人を合わせるのではない、人に事業を合わせるのだ。」

古泉 志保氏 (地球市民の会) 「今一步踏み出さないと、肝心な時に踏み出せない。踏み出す勇気を。」

梅野 忠光氏 (未来ギフト) 「人生思い通りにならないこともあるかもしれないが、仲間がいれば大丈夫。」

井上 裕司氏 (井上絹織) 「楽しんでいる人が一番魅力的。目標とは今の自分を変えること。今を楽しめ。」



1年生はこれから下半期、探究の4つのステップ(課題の設定、情報収集、整理・分析、まとめ・表現)を学習することになる。問いはあとからあとから磨き上げられるものだ。まずは興味あるところから掘り始めてみよう。

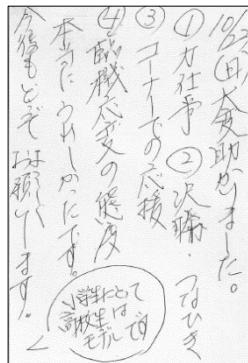
勝つまで“けえらん” -3年生いよいよ受験本番-

10月14日、振興会のご厚意により3年生の激励会が開かれた。濱道正和会長から「やってきたことは自分を裏切らない。現役生は最後まで伸び続けるから夢をあきらめずに頑張る」とエール。会長・副会長から生徒全員に“けえらん”が配られた。



“けえらん”は秀吉が朝鮮出兵の際に地元の人たちから激励に貰った食べ物との言い伝えがある。受験は挑戦するに足る自分との戦い。志を果たすまでは“^{けえ}帰らん”覚悟で頑張れ!

地域貢献 -西高ボランティア2題-



10月15日、成和公民館にて、10月23日、長松小学校にて西高ボランティア部員がイベントの手伝いに当たった。

成和公民館では成和オレンジひろば(土曜教室)の「ハロウィンを愉しもう」という交流会に5名がお手伝い、一方、長松小学校では11名が運動会の補助に当たった。

長松小の多貝利彦校長からは早速、絶賛のお葉書をいただいた。(左の写真)



西高生が小学生のいいモデルとなっている。西高冥利に尽きる。

男子バドミントン部県新人戦団体3位! -これからは九州・全国を目指して-

10月30日、佐賀市で行われた県高等学校新人大会に出場し、男子団体で堂々の3位に入賞した。バドミントン部は西高でも多くの部員数を擁する大所帯。並みいる強豪校を近隣に配しながら虎視眈々と実力を磨いてきた成果が表れた。

残念ながら九州選抜大会への出場は果たせなかったが一步一步着実に成長している姿にたくましさを感じる。選手の立ち振る舞いが全校の刺激になればいい!

【11月前半の主な行事】

11月 4日(金) 代休

9日(水) 朝の挨拶運動(10日まで)

12日(土) 土曜開校・秋の体験入学

14日(月) 修学旅行(2年、関西方面17日まで)